令和5（2023）年度入学生用（卒業要件一覧及び詳細）

学　部	教養教育科目	専門教育科目	教養教育科目 または 専門教育科目	合　計
工　学　部	32単位以上（必修含む）	88単位以上（必修含む）	4単位以上	124単位以上
経営経済学部	36単位以上（必修含む）	88単位以上（必修含む）	—	124単位以上
保健医療学部	22単位以上（必修含む）	102単位以上（必修含む）	—	124単位以上

日本文理大学工学部履修細則

平成16年4月1日
制定

（総　則）

第1条　この細則は、工学部における開講科目及び履修方法等について定める。

2　工学部の専門教育科目は、「必修科目」、「コース必修科目」、「選択必修科目」、「コース選択必修科目」、及び「選択科目」に区分する。

3　工学部における授業科目の区分及び開講科目は、別表に定めるとおりとする。

4　一年間に履修登録できる単位数を48単位（前期24単位、後期24単位）までとする。但し、休業中に実施される集中講義、認定制科目及び卒業要件単位に算入しない科目は、履修制限対象科目から除く。また、履修計画上、担任教員が履修制限超過の必要を認めた場合は、履修制限超過申請書を提出し、所属学科教室主任の承認を得られた場合のみ、履修登録の上限を超えて履修登録できるものとする。

5　一年間に履修登録できる単位数については、学生の成績状況に合わせて緩和あるいは厳格化させることがある。

6　各学科の履修条件及び履修制限については、別に定める。

（卒業要件）

第2条卒業には4年以上在学し、教養教育科目32単位（必修科目19単位を含めて。）以上、および専門教育科目88単位（第3項に示す科目を含めて。）以上、かつ合計124単位以上を修得しなければならない。

2　教養教育科目の必修科目は、人間力概論（2単位）、社会参画入門（2単位）、社会参画実習（1単位）、英語1（2単位）、情報リテラシー1（2単位）、文章表現（2単位）、大分学・大分楽（2単位）、産学一致の勧め（2単位）、社会参画応用（2単位）、社会参画実習2（1単位）及びデータサイエンス入門（1単位）とする。ただし、留学生カリキュラム対象者は、文章表現（2単位）に替え、日本語4（2単位）とする。

3　各学科の専門教育科目における卒業要件は、以下に示す通りとする。

(1)　機械電気工学科

イ　以下に示す「必修科目」38単位を全て修得しなければならない。

基礎機械電気工学（2単位）、微分積分1（2単位）、線形代数1（2単位）、設計基礎（2単位）、機械要素設計1（2単位）、材料力学1（2単位）、エネルギー工学（2単位）、Cプログラミング基礎（2単位）、数理解析（2単位）、メカトロニクス（2単

位)、機械電気計測（2単位)、電気回路1(4単位)、電子物性基礎（2単位)、電子回路1（2単位)、研究ゼミナール（2単位)、卒業研究（6単位)

ロ　以下に示すコース別の「コース選択必修科目」の中から定められた単位数を修得しなければならない。

未来創造工学コース（6単位以上)

機械加工実習（2単位)、機械工学実験1（2単位)、機械工学実験2（2単位)、自動車実験・実習1（2単位)、自動車実験・実習2（2単位)、電気電子基礎実験（2単位)、電気電子工学実験1（2単位)、電気電子工学実験2（2単位)

ものづくり設計エンジニアコース（6単位以上)

機械加工実習（2単位)、機械工学実験1（2単位)、機械工学実験2（2単位)、自動車実験・実習1（2単位)、自動車実験・実習2（2単位)

電気・電子情報コース（6単位以上)

機械加工実習（2単位)、自動車実験・実習1（2単位)、電気電子基礎実験（2単位)、電気電子工学実験1（2単位)、電気電子工学実験2（2単位)

(2)　建築学科

イ　以下に示す「必修科目」40単位を全て修得しなければならない。

基礎製図（2単位)、CAD製図（2単位)、設計製図1（2単位)、設計製図2（2単位)、建築計画1（2単位)、建築計画2（2単位)、住居論（2単位)、建築環境工学（2単位)、建築設備（2単位)、構造力学1（2単位)、材料力学（2単位)、材料工学（2単位)、建築一般構造（2単位)、施工1（2単位)、建築法規1（2単位)、技術者倫理（2単位)、地域再生論（2単位)、卒業研究（6単位)

ロ　以下に示すコース別の「コース必修科目」の中から定められた単位数を修得しなければならない。

環境・地域創生コース

・まちづくり分野（28単位)

データ解析演習（2単位)、地理情報処理演習（2単位)、自然生態学（2単位)、環境水理学（2単位)、測量学及び実習（4単位)、都市計画（2単位)、ランドスケープ（2単位)、地盤工学（2単位)、線形代数1（2単位)、微分積分1（2単位)、プロジェクト1(2単位)、プロジェクト2(2単位)、プロジェクト3（2単位)

環境・地域創生コース

・社会基盤分野（28単位)

地理情報処理演習（2単位)、自然生態学（2単位)、環境水理学（2単位)、測量学及び実習（4単位)、都市計画（2単位)、ランドスケープ（2単位)、構造力学2（2単位)、地盤工学（2単位)、建設マネジメント演習及び実習（2単位)、線形代数1（2単位)、線形代数2（2単位)、微分積分1（2単位)、微分積分2（2単位)

ハ　以下に示すコース別の「コース選択必修科目」の中から定められた単位数を修得しなければならない。

建築設計コース（16単位以上)

CAD1（1単位)、CAD2（1単位)、CAD3（1単位)、設計製図3（2単位)、設計製図4（2単位)、設計製図5（2単位)、日本建築史（2単位)、世界建築史（2単位)、建築材料実験（2単位)、建築法規2（2単位)、プロジェクト1（2単位)

建築工学コース（16単位以上)

CAD1（1単位)、構造力学2（2単位)、構造力学3（2単位)、地盤工学（2単位)、構造設計1（2単位)、構造設計2（2単位)、構造設計3（2単位)、建築材料実験（2単位)、施工2（2単位)、建設マネジメント演習及び実習（2単位)、プロジェクト1（2単位)

住居・インテリアデザインコース（16単位以上)

CAD1（1単位)、CAD2（1単位)、CAD3（1単位)、設計製図3（2単位)、設計製図4（2単位)、スペースデザイン（2単位)、モダンデザイン（2単位)、リフォーム（2単位)、インテリア環境工学（2単位)、プロジェクト1（2単位)、プロジェクト2（2単位)

ニ　建築設計コース及び建築工学コースは、一級建築士受験資格（免許登録要件実務経験年数2年)、住居・インテリアデザインコース及び環境・地域創生コースは、二級建築士受験資格（資格付与実務経験年数0年）の要件を満たさなければならない。

(3)　航空宇宙工学科

イ　以下に示す「必修科目」42単位を全て修得しなければならない。

微分積分1（2単位)、線形代数1（2単位)、力学要論（2単位)、航空工学概論（2単位)、宇宙工学概論（2単位)、材料力学基礎（2単位)、構造力学（2単位)、航空宇宙材料（2単位)、熱力学（2単位)、ピストンエンジン（2単位)、タービンエンジン（2単位)、流体力学（2単位)、工学実験基礎（2単位)、航空工学実験1（2単位)、CAD基礎（作図）(2単位)、CAD基礎（設計）(2単位)、レベルアップA（2単位)、レベルアップB（2単位)、卒業研究（6単位)

ロ　以下に示すコース別の「コース必修科目」を全て修得しなければならない。

航空技術・総合工学コース（4単位)

飛行力学（2単位)、航空機設計（2単位)

エアライン整備・オペレーションコース（4単位）
整備概論（2単位）、整備基礎（2単位）
スペーステクノロジーコース（4単位）
航空宇宙情報処理(2単位)、ロケット工学(2単位)

(4) 情報メディア学科

イ　以下に示す「必修科目」30単位を全て修得しなければならない。
情報メディア入門（2単位）、コンピュータ基礎（2単位）、IT基礎（2単位）、eビジネス基礎（2単位）、プログラミング基礎（2単位）、インターネット基礎（2単位）、インターネット応用（2単位）、データベース基礎（2単位）、データベース応用（2単位）、研究ゼミナールA（2単位）、研究ゼミナールB（2単位）、情報メディア総合演習（2単位）、卒業研究（6単位）

ロ　以下に示すコース別の「コース必修科目」を全て修得しなければならない。
情報工学コース（26単位）
C言語プログラミング（2単位）、Javaプログラミング（2単位）、アルゴリズム（2単位）、信号処理及び演習（3単位）、画像処理及び演習（3単位）、データ解析及び演習（3単位）、自然言語処理及び演習（3単位）、ソフトウェア開発入門（2単位）、Webシステム構築（2単位）、情報システム回路入門（2単位）、組込み演習（2単位）
メディアデザインコース（21単位）
デッサン（1単位）、コンテンツ企画論（2単位）、コンピュータグラフィックス基礎（2単位）、コンピュータグラフィックス応用（2単位）、コンピュータミュージック基礎（2単位）、コンピュータミュージック応用（2単位）、コンピュータミュージック演習（2単位）、映像企画・取材学（2単位）、映像機器学及び演習（3単位）、映像構成・演出学及び演習1（3単位）
こども・情報教育コース（4単位）
初等教育のためのICT活用1（2単位）、初等教育のためのICT活用2（2単位）
情報コミュニケーションコース（13単位）
データ解析及び演習（3単位）、情報メディアと社会（2単位）、情報メディアと法・倫理（2単位）、eビジネス経営論（2単位）、ICT基礎演習（1単位）、ICT応用（2単位）、ICT実践演習（1単位）

ハ　以下に示すコース別の「コース選択必修科目」の中から定められた単位数を修得しなければならない。
情報コミュニケーションコース（20単位）
（以下の科目から10単位）
Webデザイン（2単位）、Webアニメーション（2単位）、コンピュータグラフィックス基礎（2単位）、広告デザイン（2単位）、造形（2単位）、デッサン（1単位）、コンテンツ企画論（2単位）、コンピュータグラフィックス応用（2単位）、3DCAD基礎（2単位）、3DCAD応用（2単位）、Webプランニング論（2単位）、デジタルコンテンツ論（2単位）、プロジェクトマネジメント論（2単位）、コンピュータミュージック基礎（2単位）、コンピュータミュージック応用（2単位）、コンピュータミュージック演習（2単位）、映像企画・取材学（2単位）、映像機器学及び演習（3単位）、映像構成・演出学及び演習1（3単位）、映像構成・演出学及び演習2（3単位）
（経営経済学科で開講されている下記の科目分野の中から10単位）
1.専門基礎、2.経営学、3.マーケティング・流通、4.経済学、5.法律学、6.会計ファイナンス、7.スポーツビジネス、8.スポーツトレーナー、9.社会福祉、10.心理学、14.地域マネジメント

日本文理大学経営経済学部履修細則

平成16年4月1日
制定

（総　則）

第1条　この細則は、経営経済学部における開講科目及び履修方法等について定める。

2　経営経済学部の専門教育科目は、「必修科目」、「選択必修科目」、「コース必修科目」及び「選択科目」に区分する。

3　経営経済学部における授業科目の区分及び開講科目は、別表に定めるとおりとする。

4　一年間に履修登録できる単位数を48単位（前期24単位、後期24単位）までとする。ただし、休業中に実施される集中講義、認定制科目及び卒業要件単位に算入しない科目は、履修制限対象科目から除く。

5　一年間に履修登録できる単位数については、学生の成績状況に合わせて緩和あるいは厳格化させることがある。

（卒業要件）

第2条　卒業には4年以上在学し、教養教育科目から36単位（必修科目19単位を含めて。）以上、専門教育科目から88単位（第3項に定める科目・単位を含めて。）以上の合計124単位以上を修得しなければならない。

2　教養教育科目の必修科目は、人間力概論（2単位）、社会参画入門（2単位）、社会参画実習（1単位）、英語1（2単位）、情報リテラシー1（2単位）、文章表現（2単位）、大分学・大分楽（2単位）、産学一致の勧め（2単位）、社会参画応用（2単位）、社会参画実習2（1単位）及びデータサイエンス入門（1単位）とする。ただし、留学生カリキュラム対象者は、文章表現（2単位）に替え、日本語4（2単位）とする。

3　専門教育科目における卒業要件は、次の各号に定めるとおりとする。

(1)「必修科目」

以下に掲げる科目20単位を全て修得しなければならない。

ゼミナールⅡA（2単位）、ゼミナールⅡB（2単位）、ゼミナールⅢ（4単位）、ゼミナールⅣ（4単位）、簿記入門（2単位）、経営学入門（2単位）、経済学入門（2単位）及び社会福祉入門（2単位）

(2)「選択必修科目」

以下に掲げる科目群からそれぞれ8単位以上修得しなければならない。

イ「経済学」 マクロ経済学（4単位）、ミクロ経済学（4単位）、国際経済学（2単位）、経済政策論（2単位）、日本経済論（2単位）

ロ「法律学」 商法ⅠA（2単位）、商法ⅠB（2単位）、憲法A（2単位）、憲法B（2単位）、民法ⅠA（2単位）、民法ⅠB（2単位）、労働法（4単位）

(3)「コース必修科目」

コース別に、以下に掲げる科目を全て修得しなければならない。

イ　地域マネジメントコース（8単位）

社会調査法（2単位）、まちづくりマーケティング（2単位）、地域ブランド論（2単位）、地域イノベーション論（2単位）

ロ　ビジネスソリューションコース（8単位）

流通経営論（2単位）、マーケティング論（2単位）、企業戦略基礎（2単位）、マーケティング戦略演習（2単位）

ハ　会計ファイナンスコース（8単位）

管理会計論A（2単位）、管理会計論B（2単位）、財務諸表論（4単位）

ニ　スポーツビジネスコース（8単位）

スポーツビジネス・マネジメント概論（2単位）、スポーツ経営学（2単位）、スポーツ法学（2単位）、スポーツリテラシー（スポーツ産業論）（2単位）

ホ　こども・福祉マネジメントコース（8単位）

社会福祉調査法（2単位）、地域福祉論（2単位）、児童福祉論（2単位）、福祉経営論（2単位）

日本文理大学保健医療学部履修細則

令和5年4月1日
制定

（総　則）

第1条　この細則は、保健医療学部における開講科目、履修方法、卒業要件及び進級方法等について定める。

2　保健医療学部の専門教育科目は、「必修科目」、「コース必修科目」及び「選択科目」に区分する。

3　保健医療学部における授業科目の区分及び開講科目は、別表に定めるとおりとする。

4　一年間に履修登録できる単位数を48単位（前期24単位、後期24単位）までとする。ただし、休業中に実施される集中講義、認定制科目及び卒業要件単位に算入しない科目は、履修制限対象科目から除く。

5　一年間に履修登録できる単位数については、学生の成績状況に合わせて緩和あるいは厳格化させることがある。

（卒業要件）

第2条　卒業には4年以上在学し、教養教育科目から22単位（必修科目14単位を含めて）以上、専門教育科目から102単位（第3項に定める科目・単位を含めて）以上の合計124単位以上を修得しなければならない。

2　教養教育科目の必修科目は、社会参画入門（2単位）、社会参画実習（1単位）、人間力概論（2単位）、産学一致の勧め（2単位）、大分学・大分楽（2単位）、英語1(2単位)、情報リテラシー1（2単位）及びデータサイエン

ス入門（1単位）とする。

3　専門教育科目における卒業要件は、次の各号に定めるとおりとする。

(1)　必修科目

以下に掲げる科目19単位をすべて修得しなければならない。

解剖学（2単位）、生理学（2単位）、生化学（1単位）、病理学1（1単位）、医学概論（1単位）、薬理学（1単位）、公衆衛生学（1単位）、デジタル医療の基礎（1単位）、チーム医療概論（1単位）、医療安全論（1単位）、チーム協働と課題解決（1単位）、保健医療と経営（1単位）、保健医療と工学（1単位）及び卒業研究（4単位）

(2)　コース必修科目

コース別に、以下に掲げる科目をすべて修得しなければならない。

イ　診療放射線学コース（83単位）

医療統計学1（1単位）、臨床画像解剖学（2単位）、基礎医学大要（2単位）、放射線基礎科学（2単位）、放射線基礎工学（2単位）、医用工学（2単位）、放射線物理学（2単位）、放射化学（2単位）、放射線生物学・疫学（2単位）、放射線計測学（2単位）、理工学実験（2単位）、医療倫理学（1単位）、放射線撮影学1（2単位）、放射線撮影学2（2単位）、臨床画像学（2単位）、診療画像機器学1（2単位）、診療画像機器学2（2単位）、診療画像機器学実験（2単位）、診療画像検査学1（2単位）、診療画像検査学2（2単位）、診療画像技術学実習1（1単位）、診療画像技術学実習2（1単位）、放射線医薬品学（2単位）、核医学検査技術学1（2単位）、核医学検査技術学2（2単位）、放射線腫瘍学（1単位）、放射線治療技術学1（2単位）、放射線治療技術学2（2単位）、放射線治療機器学（2単位）、医療画像工学（2単位）、医療画像情報学1（2単位）、医療画像情報学2（2単位）、放射線関係法規（2単位）、放射線安全管理学（2単位）、医療安全管理学（1単位）、実践臨床画像論（2単位）、放射線医科学演習（1単位）、放射線治療技術演習（2単位）、核医学検査技術演習（2単位）及び臨床実習（診療参加型）（12単位）

ロ　臨床検査学コース（83単位）

病理学2（1単位）、微生物学（1単位）、分子生物学（1単位）、免疫学（1単位）、保健医療福祉論（1単位）、医療統計学1（1単位）、医療統計学2（1単位）、栄養学（1単位）、公衆衛生学演習（1単位）、関係法規（臨床検査）（1単位）、医療工学概論（2単位）、検査機器総論（1単位）、情報科学概論（1単位）、臨床病態学1（1単位）、臨床病態学2（2単位）、臨床検査医学（2単位）、臨床検査学演習（2単位）、血液検査学（2単位）、血液検査学実習（2単位）、病理組織検査学（2単位）、細胞診検査学（1単位）、病理組織細胞検査学実習（2単位）、一般検査学演習（2単位）、寄生虫検査学実習（1単位）、生体分析検査化学（1単位）、生体分析検査化学実習（2単位）、免疫検査学（1単位）、免疫検査学実習（2単位）、遺伝子・染色体検査学（1単位）、遺伝子・染色体検査学実習（1単位）、輸血・移植検査学（2単位）、輸血・移植検査学実習（2単位）、微生物検査学1（2単位）、微生物検査学2（2単位）、微生物検査学実習（2単位）、臨床生理検査学1（1単位）、臨床生理検査学2（1単位）、臨床生理検査学実習（2単位）、画像検査学（2単位）、画像検査学実習（2単位）、画像・AI解析検査学（2単位）、臨床検査総合演習（2単位）、検査総合管理学（2単位）、医療安全管理学実習（1単位）、臨床検査論1（2単位）、臨床検査論2（2単位）、臨床検査論3（1単位）、臨地実習前総合実習（1単位）及び臨地実習（11単位）

ハ　臨床医工学コース（83単位）

分子生物学（1単位）、免疫学（1単位）、保健医療福祉論（1単位）、基礎医学実習（1単位）、関係法規（医工学）（1単位）、応用数学（2単位）、医用電気工学総論（2単位）、医用電気工学各論（2単位）、医用電気工学実習（1単位）、医用電子工学総論（2単位）、医用電子工学各論（2単位）、医用電子工学実習（1単位）、医用機械工学（2単位）、医用計測工学（2単位）、医療情報処理工学（2単位）、医用システム工学（2単位）、システム・情報処理実習（1単位）、データサイエンス概論（2単位）、医用工学概論（1単位）、生体物性工学（2単位）、医用材料工学（2単位）、生体計測工学（2単位）、医用機器学概論（2単位）、医用機器学実習（1単位）、医用治療機器学（2単位）、生体計測装置学（2単位）、臨床支援技術学（2単位）、臨床支援技術学実習（1単位）、循環制御治療学（2単位）、人工呼吸療法学（2単位）、血液浄化療法学（2単位）、循環制御治療学実習（2単位）、人工呼吸療法学実習（2単位）、血液浄化療法学実習（2単位）、医療機器安全管理学（2単位）、医用治療機器学実習（1単位）、生体計測装置学実習（1単位）、医療システムマネジメント論（2単位）、生命科学概論（1単位）、臨床医学英語（1単位）、救急・麻酔・集中治療医学（1単位）、臨床医学総論（内科系）（2単位）、臨床医学総論（外科系）（2

単位)、人工臓器学（2単位)、医工学治療論（2単位)、レギュラトリーサイエンス論（2単位）及び臨床実習（7単位）

（進　級）

第3条　進級判定は、2年次及び3年次の学年末に行い、その判定基準は次の各号に定めるとおりとする。

(1) 各学年に配当された必修科目のうち、不合格科目が2科目以内であること。ただし、各学年に配当されている実験・実習科目の単位はすべて修得していること。

(2) 3年次への進級は、前号の規定のほか、教養教育科目の選択科目を8単位以上修得していること。

(3) 4年次への進級は、第1号の規定のほか、基礎学力講座（国語及び数学）の「R」の認定を受けていること。

2　進級の決定は、教授会の議を経て、学長が決定する。

3　第1項の規定により進級できなかった者は、原学年に留年する。